



2026 年 8 月 6 日

MM Capital Partners 2 号株式会社

**MM キャピタルインフラストラクチャー・ファンド 2 号による
ドイツ・住宅用ルーフトップ太陽光発電ポートフォリオ 2 号案件の取得について**

MM Capital Partners 2 号株式会社 (代表取締役社長 後藤朝英、以下、MMCP) が管理・運営する MM キャピタルインフラストラクチャー・ファンド 2 号 (以下、MMCIF2) は、みずほリース株式会社 (代表取締役社長 中村昭、以下、みずほリース) とともに、共同で設立した Green Energy Investment S.à r.l. (以下、Green Energy) を通じて、ドイツの住宅用ルーフトップ太陽光発電ポートフォリオ第 2 号案件の持分 36% を取得しました。

本件は、2024 年 5 月に MMCIF2 が参画した第 1 号案件に続く、ドイツ住宅用ルーフトップ太陽光発電ポートフォリオの第 2 号案件となります。太陽光発電設備・蓄電システム・EV チャージャー等で構成される太陽光発電システムをリース資産として住宅所有者へ 20 年間の長期に亘りリースするもので、長期固定のリース契約により、安定的かつ予測可能なキャッシュフローが見込まれるとともにドイツにおける再生可能エネルギーの更なる普及と家庭部門の脱炭素化に貢献します。ドイツのエネルギー転換ビジネスの先駆者でルーフトップ太陽光発電システム市場のリーダーである Enpal 社が本事業を開発し、取引完了後も Enpal は発電システムの監視・保守を継続して担います。

本件買収は、MMCIF2、Equitix 社、Keppel Infrastructure Trust 社 (以下、Keppel)、みずほリースの 4 社が、投資 SPC を通じて共同で実施し、4 社共同で対象事業の 90%持分を保有します。(Enpal 社が残りの 10% 持分を保有。) このうち MMCIF2 は、みずほリースとともに、共同出資会社である Green Energy を通じて上述 4 社による共同エンティティの 40%持分 (対象事業の 36%相当) を取得。ポルトガルにおける再生可能エネルギー案件に続く、みずほリースとの欧州再生可能エネルギー分野での協調投資案件となります。

MMCP は、これまで再生可能エネルギーおよびインフラ投資分野で培った知見を活かし、パートナーである Enpal、Equitix、Keppel、みずほリースと緊密に連携しながら、本ポートフォリオの安定的な運営および事業価値の向上に取り組んでまいります。

MMCP は、本事業を通じて、欧州における再生可能エネルギーの一層の普及、脱炭素社会への移行を後押しするとともに、全てのステークホルダーとともに持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



MM Capital Partners

【MMCIF2】

名称	MM Capital Infrastructure Fund II, L.P.
運営・管理会社	MM Capital Partners 2 号株式会社
事業内容	海外インフラ資産（交通分野・エネルギー分野・社会インフラ分野等）へのエクイティ投資。OECD（経済協力開発機構）加盟国が対象。

【MMCP】

名称	MM Capital Partners 2 号株式会社
所在地	東京都中央区
URL	https://www.mmcp.co.jp/
代表者	代表取締役社長 後藤朝英
株主・出資比率	90.0% : 丸紅株式会社 5.0% : 株式会社みずほ銀行 5.0% : アセットマネジメント One 株式会社
事業内容	MMCIF2 の運営・管理。

【本件に関するお問い合わせ先】
MM Capital Partners 2 号株式会社
TEL 03-5542-1025



MM Capital Partners

【みずほリース】

名称	みずほリース株式会社
所在地	東京都港区
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
URL	https://www.mizuho-ls.co.jp/
代表者	代表取締役社長 中村昭
事業内容	リース取引および割賦販売取引ならびに各種金融取引など。

【Green Energy】

名称	Green Energy Investment S.à r.l.
所在地	ルクセンブルク大公国 ルクセンブルク市
株主・出資比率	20.00% : MMCIF2 80.00% : みずほリース
事業内容	本事業の運営・管理。